ふくろう新聞

＜発　行＞
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原町
中川原28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551

節分の巻き寿司作りに挑戦!!

▲ よ～し、寿司を巻くぞ、それっ！！

2月3日（火）の節分の日に、毎年恒例の巻き寿司作りをみなさんで行いました。入所者さん自身の手で、その日の夕食の巻き寿司を作りました。

慣れない手つきで不自由な手を一所懸命使いながらがんばって作られた方もいらっしゃいます。慣れた手つきで職員より上手に作られた方もいらっしゃいます。目が不自由でも職員に教えてもらいながら何とか巻き寿司を巻いた方もいらっしゃいます。みなさんひとりひとりの思いがこもった巻き寿司ができあがりました。

夕食では、自分の作った巻き寿司を自分で召し上がりました。さぞおいしかったことと思います。

このように、入所者さん自身が楽しめ満足できる企画を今後も続けて行きたいと思います。

（介護：角村）

▲ 上手に巻けるかな？よいしょ

研修生も行事に参加

▲ 豆の代わりにボールを使いました。

節分の日ということで、節分にちなんで豆まきレクリエーションを考えました。

豆の代わりにつかみやすい玉入れのボールを用いて私たちが鬼となり、皆さんに投げていただきました。

投げることができる人や投げることができない人など様々な方がいらっしゃいますが、個々にあった接し方をし、より多くの人が参加できるようにしました。

いつもの生活の中に、このような季節の行事を取り入れることが、日常生活への刺激となり、たくさんの笑顔がみられました。

おこなっている私達も、皆さんの笑顔を見ていると笑顔になり楽しい時間を過ごせました。

巻きずし作りでは、皆さんとても楽しみにしておられて、材料が到着するとすぐにとりかかり、助け合いながら一生懸命作っている様子が伺えました。利用者の中に私達も入りお手伝いさせていただきましたが、皆さん無我夢中で巻きずしを作っており私たちの手はいらないくらいでした。

出来上がりは皆さんとても上手に作られていておいしそうでした。

何かひとつのことをみんなで行なうと、もちろん出来ない人が現れますが、そういう方でも一緒の空間にいるだけで楽しい気分になれるというのが表情から読み取ることができました。

こういう行事を積極的に取り入れることで、生活が活気付くと思います。

今回、自分たちが考えたレクリエーションを楽しんで頂くことができてよかったです。

関西看護学校医療大学3年
塩山・名尾・細野・山本

▲ みなさん一生懸命作っていました。

お知らせ

ふくろうの郷オリジナルキーホルダー発売中!!

事務所で「ふくろうの郷オリジナルキーホルダー」を販売中です。10個以上の注文で郵送もできます（着払い）。まずはお電話下さい。

入所者紹介～花房夫妻～

▲花房豊治さん（32）ふさ子さん（30）のときの写真です。

当時、豊治さんはもててふさ子さんはひとりじめするのが大変だったと笑っていました。

星ユニットに入所されている花房豊治さん、ふさ子さんご夫妻は、豊治さん32歳、ふさ子さん30歳のときに結婚されたそうです。おふたりが知り合われてから2年が経っていたそうです。

豊治さんは若いときから墓石作り一筋でずっと頑張ってこられたようで、時々書いてくださる書道の字は見事なものです。

ふさ子さんは明石でマッチを作る仕事をされ、加古川と高砂では染物の工場で働き、頑張って貯金をためられました。

仕事をやめてからは家でお花を育てて楽しまれていました。

ふくろうの郷ではおふたりでユニットのレクリエーションに参加されたり、お部屋で並んでテレビ観賞されたりと、毎日ゆっくりと過ごされています。

もう少し暖かくなったら、ふさ子さんは豊治さんのご姉妹に会いたいと希望されています。豊治さんとふたりで心待ちにされている今日この頃です。

（介護：高田佳代）

▲現在の花房豊治、ふさ子さん夫妻

はじめまして

年始に入所されました、中村正一（なかむらしょういち）さん(91)です。

よろしく

退所される方

丸添　恵美子　さん

残念ながら病院での長期入院生活となり、退所することになりました。

2月 お誕生日おめでとう!

北川　他久美さん　昭和17年2月1日　(67)

北風　章子さん　昭和5年2月5日　(79)

富永　ゆき子さん　大正11年2月6日　(87)

辛嶌　シツカさん　大正12年2月9日　(86)

松崎　敬治さん　大正13年2月13日　(85)

松崎　恵子さん　昭和10年2月14日　(74)

伊藤　照子さん　大正15年2月17日　(83)

小林　紀雄さん　昭和2年2月11日　(82)

酒井　道恵子さん　昭和5年2月26日　(79)

～洲本第一小学校交流会～

▲上手に焼けたかな？

1月22日に洲本第一小学校の3・4年生が淡路ふくろうの郷の見学及び入所者との交流にきてくれました。

午前中は施設見学とお互いの自己紹介、午後からはみんないっしょになってベビーカステラ作りをしました。作ったカステラを一緒に食べて楽しみました。

最後にはみんなで記念撮影。入所者の竹邊正晴さんは「また来てね！」と手を振って別れを惜しみました。

→入所者さんと一緒に焼きました。

～担当の林由美子先生からのお手紙～

この度は施設の方々と色々と交流させていただきありがとうございました。

とても楽しかったこと、少し緊張したこと、頑張ったことなど、児童は作文にたくさん書いてくれました。施設の方々には多々ご迷惑をおかけしましたが、子供達にはとてもいい体験になりました。

車椅子体験やおやつのときに関わってくれた職員の方々、大勢の方々に御世話になり、ありがとうございました。

▲ みんなで一緒に記念撮影

～どんど焼き～

▲勢いよく燃え上がります

1月15日、ふくろうの郷の畑で、地域の方々のご協力もいただき、お正月の門松やしめ縄や書初めなどを焼いておまつりする「どんど焼き」を行いました。

年末年始の取り組みの最後を締めくくる行事です。

今年も無事お正月を迎えることができました、今年も良い年になりますように、とみんなで手を合わせて拝みました。

みんなの楽しみは、どんど焼きの火で焼いた“焼き芋”でした。寒空の下、焼きたてホカホカの焼き芋をみんなで食べるとあちこちから笑顔がこぼれました。（介護：角村）

▲焼き芋がおいしい！

オバマ米新大統領就任に思うこと

社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会
理事：須磨喜三郎

新年を迎え、あっという間に1ヶ月が過ぎました。みなさんは新年をどのように過ごされましたか？今年1年の目標・抱負は決まりましたでしょうか。

昨年末から相次ぐ金融危機、不況、雇用問題などの「寒波」が押し寄せる中、二〇〇九年が始まりました。今年は一体どうなるのか、誰もが不安を抱いていると思います。

そんな中、去る1月20日、米国史上初の黒人大統領が誕生しました。二〇〇万人の聴衆で埋め尽くされたオバマ大統領就任式のニュースをみなさんもご覧になったと思います。改めてオバマ大統領に寄せる期待の大きさを感じさせられました。

オバマ大統領の就任演説の中で、印象に残ったことは何でしょうか。私は「米国民一人一人が、自分自身や、我々の国、世界に対して責務を負っているということを認識すること。（略）嫌々受け入れるのではなく、むしろ喜んで受け入れる責務なのである。」という言葉に感動しました。

全てのことに言えることなのですが、我々「ろうあ運動」に置き換えることも出来る内容だと思いました。無関心や任せきりではなく、一人一人がそれぞれに責任のあることを自覚し、行動していくことが求められています。“どうせ変わらない”“誰かがやるだろう”ではなく、“現状を変えていこう”“良くしていこう”と考え、変えていきましょう。すなわち「チェンジ」です。

私たちは変わることが出来ます。Ｙｅｓ，Ｗｅ Ｃａｎ（我々にはできる！）

理事リレーエッセイ～ふくろうの郷から～

地域を語る　第2回　中川原町中川原について

当中川原地域の広さは東西＝八丁(87，2m)、南北＝十七丁三〇間(2 4 0，2m)、周囲＝一里三〇丁五十一間(7，2 9 3 m)。(文政三年四月、一八三〇年の分間絵図による)

また、昭和30年4月(一九五五年)、洲本市合併時の状況は、戸数75軒、人口三九四人、純農家51軒、精米所2軒、日用雑貨店2軒、魚屋1軒、整縄工場1軒、大工2軒、医者1軒、月給生活者8軒、養兎業1軒、あんま業1軒、牛頭数93頭(成牛70頭、仔牛23頭)、山羊18頭と記録されています。

現在、平成20年11月、世帯数一一九戸、人口三〇四人(施設入所者含む、市統計)、純農家(ほとんどが第一種、第二種兼業農家となっています)、建設業1軒、医者2軒、鉄工業4軒、特養1軒、和牛飼育農家9軒、同飼育頭数45頭(成牛33頭、仔牛12頭)。

農家はほとんど稲作で、収穫後、たまねぎ、白菜、キャベツなど、冬野菜を一部で栽培、果樹はみかんの生産過剰から廃園する農家が続き、花栽培1軒と半世紀を過ぎて農村、農家、そして地域の大きな様変わりが見られています。

※参考資料
「地方史の新研究」
淡路ふくろうの郷
地域交流会会長
北岡　肇

ふくろう新聞の袋詰

みんなで袋に詰めています。

ふくろう新聞は、毎月地元中川原地域の全家庭に配布させていただいています。

また、島内の介護関係施設はもちろん、日本全国の聴覚障害者施設やその他介護関係施設各所に送付し、ふくろうの郷から全国にメッセージ発信しています。

送付のために、ふくろう新聞をひとつひとつ封筒に入れる作業を入所者さんに手伝ってもらっています。

手間のかかる作業ですが、みんなで楽しく和気あいあいとやっています。

第4回ふくろう学習会のおしらせ

「中川原の今・昔・これから」

講　師　北岡　肇氏
と　き　3月28日（土）
　　3時～4時30分
場　所　淡路ふくろうの郷
　　地域交流スペース
参加費　500円

詳細については、淡路ふくろうの郷までお問い合わせください。

どなたでもご参加できますのでよろしくお願いいたします。

ふくろう喫茶よりお知らせ

ふくろう喫茶でふくろうの郷の入所の方々と一緒に楽しい時間を過ごしませんか。

◆開催日時：3月22日(日)
13:00～15:00

メニュー
・コーヒー・ココア・紅茶・ホットカルピス　…1杯￥200
・たまねぎスープ　…1杯￥200
・お菓子　…1個￥100
【冬季限定】・生姜湯・あめゆ　…1杯￥100

毎月1回開きますので、ぜひお越し下さい。
4月以降の開催日は、追ってお知らせいたします

※喫茶のボランティアを募集しています。
ご協力、お願い致します。

（介護：湯野）

ふくろう工房より

1月28日に、入所者待望の作業給料日がありました。作業品の売上の中から、入所者に「よく働いてくれました」という意味を込めて、参加日に合わせて、還元させていただくものです。みなさん笑顔で給料袋を受け取ってくれました。

▲ありがとうございます。

作業場では、牛乳パックをはさみで切り開く作業をしています。ジャスコで、牛乳パック10枚でトイレットペーパー1個と交換してくれるからです。入所者の松崎惠子さんや西田梅子さんは毎朝牛乳パックを集めてまわっています。

（介護：角村）

→地球環境のエコにも貢献！